

# 日川協通信 (131)

令和6年8月15日



一般社団法人 全日本川柳協会  
〒530・0041 大阪府北区天神橋 千丁目

北一一一九〇五

電話 (06) 6352-2210

FAX (06) 6352-2433

振替口座 00970-9-3575

<http://www.nissenkyou.or.jp>

## ご挨拶

理事長 小島 蘭 幸

この度の大雨の各地での甚大な被害、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興を願っています。

6月16日、広島市のアステールプラザで第47回全日本川柳2024年広島大会を開催致しました。2年前から弘兼秀子実行委員長を中心に準備、会合を重ねて来ましたが、5年振りのリアル大会ということで、出席者は、進行時間はと心配は尽きませんでした。

大会当日は好天にも恵まれ、台湾をはじめ全国各地から出席者約400名の盛会でした。記念品、弁当も予定通りで、アトラクションのシンガーソングライター瀬戸麻由さんのコンサートも好評でした。元アナウンサーの廣瀬桃子さんの素晴らしい司

会進行と、スタッフの皆様の情熱で、私の地元広島県での大会を無事終了することが出来ました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

次回は、令和7年6月22日に、第48回全日本川柳2025年神戸大会を開催致します。

さて、今年の国民文化祭は、令和6年11月10日に、岐阜市民会館で開催されます。私は2泊3日で出席します。

7月23日、全日本川柳協会の役員の皆様と一緒に頑張ってきた広島県川柳協会の役員の皆様と一緒に慰労会を開催しました。その中で一番嬉しかったのは、「蘭幸さん、よく広島での開催を引き受けて下さいました」という皆様の熱い言葉でした。

令和6年も早いもので残り5ヶ月となりました。一週間の天気予報を見ますと、全国各地で猛暑日となっています。川柳を愛する皆様、水分補給等、熱中症対策をしっかりとこの夏を乗り切りましょう。

そして11月10日、岐阜でお会いしましょう。

# 第二十六回 全日本川柳誌上大会

(令和柳多留) 入 選 作 品

(参加者 1,230 名)

令和柳多留賞

結論が出た一番鶏が鳴いた

佐賀 横尾 信雄

川柳大賞

筆洗う今日一日をなし終えて

福岡 敷田 無煙

NHK会長賞

避難所のカルタは明日を信じ切る

千葉 福本 清美

日本青少年育成協会会長賞

窓際になくはならぬ人である

長崎 法本 安子

全日本川柳協会賞

人間が好きです窓は開けてます

秋田 大石 一粹

全日本川柳誌上大会賞

熱心に今日を伝えるランドセル

大阪 鈴木ひさ子

零下二度今日は海馬を休ませる

佐賀 横尾 信雄

切り札の笑顔で窮地乗り越える

青森 石澤はる子

カードから裸のわたし覗かれる

三重 相馬まゆみ

焦げぬよう愛をとろ火でかき混ぜる

広島 田辺与志魚

第一次選者

「熱心」

佐藤 芳行

川上 大輪

「ケア」

大野 征子

赤池 加久

「窓」

三浦 蒼鬼

安部 美葉

「洗う」

田中 寿々夢

井上 万歩

「カード」

金子 美知子

大西 将文

第二次選者 (50音順)

江畑 哲男

熊谷 岳朗

鈴木 公弘

長島 敏子

古谷 龍太郎

令和6年度(6月16日)

# 東西合同常任幹事会 通 常 総 会

場 所 広島県 JMSアステールプラザ

定足数の確認のあと議事録署名者選出

## 議 案

議案第1号 令和5年度事業報告承認の件

議案第2号 令和5年度

収支決算報告承認の件

報告第1号 令和5年度監査報告の件

議案第3号 常任幹事推薦の件

報告第2号 表彰の件

その他

第1号議案から第3号議案、その他まで慎重審議の結果、議長の報告通り可決成立。最後に議長から謝辞を述べ午前11時30分に閉会した。

## 大会連続出席者

連続25回参加

江畑 哲男

連続10回参加

荒牧やむ茶・松田 タ介・古川 政章  
増田 紗弓・中坪美津子・木地 久子  
酒井 映子・松井 泰子・島 ひかる  
伊東 志乃・やまぐち九・青砥たかこ  
田辺忘志雄

マスコミ柳壇の指導を10年以上行った者

萩原美和子・平田 朝子

第17回80歳以上の功労者顕彰

田中寿々夢・中島 和子・土田 欣之

宮本 仙舟・土橋 旗一

第18回川柳文学賞

正賞「甘藍の芽」 城水めぐみ

準賞「フツ」 齋藤 泰子

## 第18回 川柳文学賞募集

日川協では川柳の普及向上を目的として、毎年1年間に出版された川柳個人句集のうち、もともと優れた川柳句集に対して「川柳文学賞」を授与しています。

2024年1月から12月末日までに刊行した句集6冊及び同句集の概要説明書を2025年1月末日までに当協会への「川柳文学賞」選考委員会宛にお送りください。沢山のご応募お待ちしております。

今後の全国大会予定

### ▼神戸

2025年6月22日  
神戸文化ホール 中ホール

今後の国民文化祭予定

### ▼岐阜

2024年11月10日  
岐阜市民会館 大ホール

### ▼長崎

2025年10月26日  
長崎ブリックホール 国際会議場

### ▼高知(四万十市)

2026年秋

2024年1月以後(敬称略)

謹んでお悔み申し上げます。

逝去日 役職 お名前 年齢

6/16 常任幹事 酒井 路也 89

6/19 常任幹事 平井 熙 78

8/5 顧問 川村 恒明 87

# 正味財産増減計算書

平成5年4月1日から平成6年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	560	396	164	
受取入会金	9,000	9,000	0	
柳社入会金	3,000	3,000	0	
個人入会金	6,000	6,000	0	
受取会費	5,074,000	5,509,000	△ 435,000	
理事会費	456,000	432,000	24,000	
常任幹事会費	2,952,000	3,096,000	△ 144,000	
正会員会費(団体)	1,589,000	1,862,000	△ 273,000	
正会員会費(個人)	77,000	119,000	△ 42,000	
普及向上事業収益	10,233,286	10,518,160	△ 284,874	
誌上大会	2,450,000	3,052,000	△ 602,000	
全国大会(事前)	2,247,000	1,266,000	981,000	
全国大会(当日)	0	1,076,000	△ 1,076,000	
国民文化祭	1,510,000	1,076,000	434,000	
表彰後援事業	39,305	91,500	△ 52,195	
選考協力事業	3,986,981	3,956,660	30,321	
受取補助金等	1,954,439	3,010,998	△ 1,056,559	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	81,890	5,000	76,890	
<b>経常収益計</b>	<b>17,353,175</b>	<b>19,052,554</b>	<b>△ 1,699,379</b>	
(2) 経常費用				
<b>事業費</b>	<b>14,529,316</b>	<b>16,012,615</b>	<b>△ 1,483,299</b>	
給料手当	3,060,520	2,873,826	186,694	
臨時雇賃金	1,190,525	635,250	555,275	
退職給付費用	142,500	142,500	0	
旅費交通費	1,236,107	1,735,740	△ 499,633	
通信運搬費	1,723,541	1,632,392	91,149	
支払手数料	8,465	9,750	△ 1,285	
消耗品費	475,263	230,260	245,003	
印刷製本費	2,104,042	2,194,467	△ 90,425	
光熱水料費	110,720	130,442	△ 19,722	
賃借料	1,191,300	1,191,300	0	
保険料	12,850	9,555	3,295	
諸謝金	2,763,373	3,278,507	△ 515,134	
表彰後援費	358,110	619,736	△ 261,626	
広告宣伝費	152,000	1,328,890	△ 1,176,890	
雑費	0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>1,785,031</b>	<b>1,752,540</b>	<b>32,491</b>	
給料手当	161,080	151,254	9,826	
退職給与費用	7,500	7,500	0	
福利厚生費	8,944	9,888	△ 944	
会議費	313,184	389,567	△ 76,383	
旅費交通費	177,380	216,760	△ 39,380	
通信運搬費	90,713	85,915	4,798	
支払手数料	5,460	4,950	510	
消耗品費	25,014	12,119	12,895	
印刷製本費	58,619	0	58,619	
光熱水料費	5,827	6,866	△ 1,039	
賃借料	62,700	62,700	0	
保険料	0	10,200	△ 10,200	
法定福利費	507,980	474,349	33,631	
租税公課	70,000	70,000	0	
接待交際費	20,100	25,942	△ 5,842	
雑費	270,530	224,530	46,000	
<b>経常費用計</b>	<b>16,314,347</b>	<b>17,765,155</b>	<b>△ 1,450,808</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>1,038,828</b>	<b>1,287,399</b>	<b>△ 248,571</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>				
(1) 経常外収益				
退職給付取崩益	0	0	0	
<b>経常外収益計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
(2) 経常外費用				
(該当なし)	0	0	0	
<b>経常外費用計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>当期正味財産増減額</b>	<b>1,038,828</b>	<b>1,287,399</b>	<b>△ 248,571</b>	
一般正味財産期首残高	8,723,699	7,436,300	1,287,399	
一般正味財産期末残高	9,762,527	8,723,699	1,038,828	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
<b>当期指定正味財産増減額</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
指定正味財産期首残高	21,000,000	21,000,000	0	
指定正味財産期末残高	21,000,000	21,000,000	0	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>30,762,527</b>	<b>29,723,699</b>	<b>1,038,828</b>	

# 監 査 報 告 書

一般社団法人全日本川柳協会  
理 事 長 小 島 和 幸 殿

令和 6 年 4 月 28 日

一般社団法人 全日本川柳協会

監 事 矢 澤 和 女

監 事 高 須 霜 石

高 須 一 博

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算関係書類（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及びこれらの附属明細書）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算関係書類の監査結果

計算関係書類は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上

# 第17回川柳文学賞受賞作品

正賞 『甘藍の芽』 城水めぐみ

準賞 『フツ』 斎藤泰子

## ■総評 選考委員 雲石隆平

第17回川柳文学賞選考は5月7日、東京の上野精養軒において行いました。選考委員は昨年に続き、佐藤美文さん、新家宏司さん、梅崎流青さん、文芸評論家の荒川佳洋さん、私の5名が一堂に介し、先に事務局に提出した選考結果を基に会議が進みました。

今回の応募数は21篇です。北海道から九州まで網羅する21人のチャレンジヤーでした。日川協が主催する文学賞に相応しく、全国規模の応募と思います。

さて、受賞者の選考結果は兵庫県在住の城水めぐみさんの『甘藍の芽』です。

5人の選考委員のうちの3人が1位に推薦しました。準賞には同じく3人の選考委員が2位に推した秋田県の斎藤泰子さんの句集『フツ』でした。

選考委員はそれぞれ3位まで3人を推薦しますが、『右上がり』の大阪の平井美智子さん、『をりをりのうた』の広島の小松好子さんに複数の推薦がありました。その他には『選択肢なんてないのさ』『パラドクス』『川柳いろいろ』『平人前のマリモ』の推薦があります。(静岡・福岡・愛媛・神奈川)

受賞作品『甘藍の芽』については、作家の若さ、川柳の空閑地を埋められそうな才能であると評価され、平易な言葉と並べながらも底の見えないほどの深さを内包している、と推薦者が評価しています。

また、発刊に向けての城水めぐみさんのこだわり、川柳の更なる発展に貢献したい、ということにも感銘しました。

第4回の受賞作品『メントモリ』の黒川さんも新しい方でした。そして、それ以来の感動がありました。今回受賞された城水さんは柳歴10年未満の作家です。川柳への意欲的な態度に、これからの斯道、未来の川柳を心強く思います。

ありがとうございます。

## ■正賞 「甘藍の芽」

城水めぐみ (兵庫)

評 (二位推薦) 梅崎 流青

川柳が社会や人間を詠う短詩だとの前提に立てば「甘藍の芽」は自分自身という人間を色濃く投影した川柳句集だといえる。(おにんぎょうでしたあなたに会うまでは) は出会いを(神さまが向けるナイフのようなもの)に抗うことのできる運命を(触られてやっと楽器になるのです)にかすかなエロスを詠い上げる。また(ベテン師の良心咳が止まらない)(完璧な嘘だ眼鏡が曇らない)に社会の一端をのぞかせる。(化けの皮剥がすりんのうさぎさん)(駱駝から降りると町も人も雨)は平易なことばを並べているが底の見えないほどの深さを内包している。句集発刊に当たり本のサイズや装丁にもこだわり、書店やネット販売など入手しやすいように考慮した、ことは全日本川柳協会が目指す「一般社会に対し良質な川柳の普及向上に照らし」に資するものであろう。

## ■準賞 「フツ」

斎藤 泰子 (秋田)

評 (二位推薦) 新家 宏司

全作品を通じて響いて来る元気の良さを買う。その元気の源は「わたしを育ててくれた子育て期」にあるのだろう。そして、その力は「子よちゃんと視なさい人は死ぬのだよ」と次世代に受け継がれてゆく。「この世への礼儀しあわせそうにする」「言うべきは言うぞ閉経後の我ら」「怒らせて時々牙を確かめる」「古希フララお辞儀などして通過する」等々、無理のないユーモアの中にも逞しさが感じられて頼もしい。



令和5年12月24日発行  
四六判変型ソフトカバー・144頁  
港の人

### ■ 主な掲載作品『甘藍の芽』

人間を象りながら濁る水  
増えたのは楢田を円にするくすり  
十代のあたしのうつくしい死体  
誰か迎えに来て欲しかった塔の上  
三角に折られた過去を持つ鳥だ  
リカちゃんになるはずだった首の皺  
わたくしの生る樹につま先が触れる  
背もたれがあればやさしくなれたのに  
くちぶえがきこえる春のくぼみから  
熟れすぎた林檎まもなく許される  
性善説で賑わうプリン・ア・ラ・モード  
ウサギ語で再度送信するLINE

### ■ 主な掲載作品『フツ』

今ならば戻れる駅に立っている  
生きるとはそういうことで米を研ぐ  
もう少し沈めば泥になれるのに  
寛容を下さい木洩れ日のような  
幕間に舅のおむつ替えに行く  
落ちこぼれ介護ことんと眠りこけ  
笹の葉がこすれるような胸騒ぎ  
月皓々ベッドの舟で行く大河  
うるたえて佇つ 残像のあざやかさ  
子よちゃんと視なさい人は死ぬのだよ  
棒読みで読めよ泣きたくなるじゃない  
「ド」の音をいつも確認して生きる

斎藤 泰子 氏



令和5年12月2日発行  
四六判ソフトカバー・161頁  
東北川柳連盟

日川協加盟柳社一覧表訂正・変更

2024年1月以降

頁	柳社名	箇所	追加・訂正・変更内容
13	北海道川柳連盟	事務所	坪井 政由 〒069-0813 北海道江別市野幌町43-6 TEL&FAX 011-389-5044
19	台東区川柳人連盟	代表	芹澤 幸雄 〒110-0001 東京都台東区谷中3-9-14 TEL 03-3828-3102
	ツイッター川柳部	新入会	
20	東都川柳長屋連	代表	大竹 洋 〒270-0101 千葉県流山市東深井865-87 TEL&FAX 04-7155-1856
		事務所	佐藤 孔亮 〒173-0004 東京都板橋区板橋2-51-11 〒ポ 生原101 TEL 090-9149-7459
23	石川県川柳協会	事務所	菜畑津代司 〒921-8822 石川県野々市市矢作1-77 TEL 076-248-8769
25	あすなろ川柳会	代表	播本 英二 〒631-0002 奈良県奈良市東登美ヶ丘2-14-9 TEL 090-5659-7130
	生駒番傘川柳会	代表住所	稲葉 良岩 〒630-0255 奈良県生駒市山崎新町10-28
27	堺番傘川柳会	代表	銭谷まさひろ 〒599-8247 大阪府堺市中区東山269-1 TEL 072-237-4600
28	番傘みどり川柳会	新入会	田中 螢柳 〒560-0033 大阪府豊中市池田中町2-3-1-411 TEL 06-6853-0470
		事務所	湯澤 孝嗣 〒561-0813 大阪府豊中市小曾根2-14-1-304 TEL 06-6868-9589
31	広島川柳会	代表	山本 恵子 〒735-0006 広島県安芸郡府中町本町4-10-11 TEL 082-284-2949
	福山渦川柳会	新入会	薮 帆子 〒723-0016 広島県三原市宮沖町4-4-3 TEL 0848-67-9062
	やまなみ川柳クラブ	新入会	浅原志ん洋 〒736-0081 広島県広島市安芸区船越6-34-15 TEL&FAX 082-823-1241
	さぬき番傘川柳会	代表	香川 大 〒762-0024 香川県坂出市府中町970 吉田様方 TEL 0877-48-0516
34	福岡番傘川柳会	代表	藏田 康子 〒818-0133 福岡県太宰府市坂本1-2-10-402 TEL 090-3191-0183
38	奥田川悦生	新入会	〒519-0502 三重県伊勢市小俣町相合505 TEL&FAX 0596-22-0782
45	島根 写 太	新常任幹事	〒274-0067 千葉県船橋市大六南1-19-6 TEL 090-8509-4160
48	富田 末 男	〃	〒455-0007 愛知県名古屋港区南十番町5-5 TEL&FAX 052-651-7941
	松本 絃 子	〃	〒630-0253 奈良県生駒市新旭ヶ丘14-7 TEL&FAX 0743-74-6588
	大堀 正 明	〃	〒532-0012 大阪府大阪市淀川区木川東4-3-34-212 TEL 06-6305-4536
49	銭谷まさひろ	〃	〒599-8247 大阪府堺市中区東山269-1 TEL 072-237-4600
	中岡千代美	〃	〒661-0014 兵庫県尼崎市上ノ島町2-2-26-206 TEL 090-8533-8691 FAX 06-6426-1991
50	徳 長 怜	〃	〒773-0013 徳島県小松島市前原町小川20-1 TEL 090-7573-0221
51	中 武 弓	〃	〒880-0872 宮崎県宮崎市永楽町182-5 TEL 090-3327-4551

全日本川柳協会への加盟の促進を

6月の第47回全日本川柳2024年広島大会は、大成功でした。リアル川柳大会のすばらしさを実感するとともに、「仲間の絆」を再確認することができました。有り難うございました。さて、その日川協ですが、ここ数年のコロナ禍の中で高齢化や硬直化が顕著です。組織の建て直しが迫られているというのが実状です。組織建設の力ぎは、何と言っても「人材と財政」でしょう。

そこで、お願い！ 改めて、傘下の皆さんに日川協の組織強化へのご協力を訴えます。

当協会に加盟すれば、下記のようなプラスが生じます。あなたの回りのお仲間にも訴えて下さい。川柳の仲間の輪を大いに広げて参りましょう。

(ア) 日川協に加盟すると、各種川柳大会の案内や資料が送られてきます。

(イ) 全国的な情報も伝わります。他吟社や他の仲間と交流する機会が生じます。

(ウ) 加盟吟社の主催する川柳大会に、(一社)全日本川柳協会の後援が得られます(ただし、申請が必要)。

(エ) 日川協への加盟は、吟社単位でも個人でも可能です。会費年額7,000円(初年度ははかに加盟費3,000円)。

(オ) 何よりも、あなた(貴吟社)の加盟自体が川柳界を元気づけ、川柳の普及・発展に寄与することになるのです。

皆様の協力が必要です！  
ぜひよろしく、お願いいたします。



# 「清流の国ぎふ」文化祭2024

川柳作品募集要項（概要）

日 時／ 令和6年 **11月10日**（日）9時30分開場

場 所／ 岐阜市民会館 大ホール

〒500-8812 岐阜市美江寺町2丁目6番地

電話：058-262-8111

交通アクセス

岐阜バス JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から乗車

「市民会館・裁判所前」下車すぐ

駐車場無し（周辺の有料駐車場をご利用下さい。）

川柳の祭典

## 事前投句

（二句詠・当日消印有効）

令和6年5月1日（水）～7月31日（水）

「天下」… 荒川八州雄（愛知）

「ペーパー」… 大嶋都嗣子（三重）

「つなぐ」… 赤池 加久（石川）

「演劇」… いしがみ鉄（東京）

## 第二次選者

松代 天鬼（愛知）

坂下 清（富山）

浪越 靖政（北海道）

駒木 香苑（福島）

岡田 篤（兵庫）

## 当日投句

（11時30分締切）

「アニメ」… 北山まみどり（青森）

「座」… くんじろう（大阪）

「飼う」… 弘兼 秀子（広島）

## 問い合わせ先・投句先

〒530-0041

大阪市北区天神橋2丁目北

1-11-905

一般社団法人全日本川柳協会

TEL (06) 6352-2210

FAX (06) 6352-2433

記念講演「日本語の魅力、川柳の魅力」

麗澤大学非常勤講師 江畑 哲男 氏

## 応募料

事前投句1,000円、当日投句1,000円

（ただし、海外投稿者、障がい者手帳の写しを添付された方は無料）

# 全日本川柳誌上大会のご案内

## (令和柳多留第6集通巻27号)

日本の全柳人が、だれでも、どこからでも参加できる「全日本川柳誌上大会」(令和柳多留第6集通巻27号)を開催します。日川協年次大会・国民文化祭文芸大会と並ぶ(一社)全日本川柳協会の権威ある三大年間行事ですので、こぞってご参加ください。

一般社団法人 全日本川柳協会  
理事長 小島 蘭 幸

### 課題と共選者(各題2句・連記)

「点」渡部 光人(秋 田) — 木本 朱夏(和歌山) 共選  
「しなやか」佐瀬 貴子(茨 城) — 安西 廣恭(愛 知) 共選  
「本 物」福士 慕情(青 森) — やまぐち九(富 山) 共選  
「のぼる」永井 天晴(東 京) — 山野 寿之(大 阪) 共選  
「ノート」矢嶋もと之(千 葉) — 瀬戸れい子(広 島) 共選

### 第2次選者

田中 新一(大 阪)、今田 久帆(静 岡)、佐藤 岳俊(岩 手)  
高木 勇三(岡 山)、大田かつら(沖 縄)

参 加 費 2,000円(投句料・『令和柳多留第6集通巻27号』代金含む)

賞 令和柳多留賞・川柳大賞・NHK会長賞  
日本青少年育成協会会長賞・全日本川柳協会賞  
全日本川柳誌上大会賞(予定)

締 切 令和7年1月31日(金)〈当日消印有効〉

参加方法 参加用紙に記入し、参加費2,000円(振替又は小為替)とともに、  
下記へご送付ください。

〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目北1-11-905  
一般社団法人 全日本川柳協会  
電 話 (06) 6352-2210  
FAX (06) 6352-2433  
振替口座 00970-9-3575

# 令和6年度 80歳以上の功労者 略歴

(敬称略)

群馬県 田中 寿々夢 たなか すずむ



昭和16年3月15日生  
昭和49年 作句を始め。  
昭和56年 前橋川柳会創立、会長となる。

現在、全日本川柳協会 常任幹事  
前橋川柳会 会長、朝日新聞「上毛柳壇」  
選者、上毛新聞「上毛川柳」選者、前橋  
市文化協会福会長ほか。

東京都 中島 和子 なかじま かずこ



昭和11年5月25日生  
昭和41年初めて川柳  
の勉強会に参加する。  
昭和45年6月1日  
番傘川柳本社同人と  
なる。

現在、東京番傘川柳社 会長  
川柳人協会 会長

大阪府 土田 欣之 つちだ よしゆき



昭和12年1月30日生  
柳歴63年  
平成6年 ふあうすと  
賞受賞  
平成16年 国民文化  
祭実行委員会会長賞

奈良県年間大賞5回  
鉄道川柳年間賞6回  
全日本川柳協会 常任幹事

山口県 宮本 仙舟 みやもと せんしゆう



昭和15年1月10日生  
大学生時代に川柳を  
始める。  
山口文化協会 副会  
長・全日本川柳協会  
常任幹事・日本現代詩歌文学館振興会  
評議員・あかまつ川柳会 会長

平成24年 山口県文化功労賞受賞  
平成27年 やまぐち生涯現役社会づくり  
章受賞

平成29年 山口県選奨受賞

令和4年 地域文化功労者表彰（文部科  
学大臣から表彰）

徳島県 土橋 旗一 つちはし きてい



昭和16年7月6日生  
平成15年 小松島か  
もめ川柳会入会  
平成19年「川柳阿波」  
同人

平成25年 徳島県川柳作家連盟会長  
現在、全日本川柳協会 常任幹事  
徳島新聞「徳島柳壇」選者  
「徳島県民文学賞」選者



## 編集後記

☆五年ぶりのリアル大会でした。六月十六日(日)の第四七回全日本川柳二〇二四年広島大会、お陰さまで大きな成功を収めることが出来ました。有り難うございました。

☆事務局長の立場から申し上げれば、大会成功を確信しておりました。開催数週間前には、「これはうまく行くぞ!」といった上げ潮状態を、ひしひしと感じることが出来たのです。理由は左記。

(ア)何しろ「五年ぶりのリアル大会」ということで、全国の川柳人の期待が大いに高まってきたこと。

(イ)コロナが収まり、川柳魂がうずうずと蠢き始めていたこと。そんな様子が伺えました。

(ウ)何よりも、スタッフが素晴らしかった。弘兼秀子実行委員長をはじめとして、皆さんよくまとまり、大会を成功させるんだという「気概」が感じられたこと。

☆大会果てて数日後。遅まきながら、弘兼実行委員長に慰労の電話を差し上げました。開口一番、弘兼さん曰く「幸せいっぱいです!」と。理由は、「スタッフがよく動いてくれた」「皆さんに喜んでいただいた」「御

礼の電話をたくさんいただいている」「いずれもやや甲高い広島弁で、笑)、等々の感想を聞くことが出来たのです。いやはや、恐れ入りました。

☆大会開催直前にも、電話を差し上げました。その折りも、「(スタッフ一同)燃えています」とのお返事。大会後は「きつとお疲れだろう」と思いきや、「幸せいっぱい!」という前述の台詞。弘兼さんとの電話のやりとりでは、二度とも事務局の方が激励され、慰労される羽目となった(笑)次第です。思い返しても、嬉しいやりとりでした。

☆全国大会開催に当たっては、その規模の大小にかかわらず、苦勞が伴います。大変です。その一方で、やり遂げた後の達成感は一入ではないでしょうか? そんな気がしてなりません。ぜひ、「次」を目指して、川柳人各位の積極的なご提案を事務局としては期待しております。

☆「川柳は生きることを励ます文芸だ」、最近あちこちで小生はこう訴えております。コロナ禍を乗り越え、高齢化に負けず、川柳の仲間は、今こそ手を携えながら前進して参りましょう。日川協は皆さんとともにありたい、そう願っておりますので。

(事務局長 江畑哲男)